

原発関連の動き

(赤：国外関連、青：地震など関連情報、緑：事故など)

「2024 月 4 月」

2024 年

- 4 月 1 日 午前 3 時 20 分ごろ、韓国・慶尚北道・蔚珍にあるハヌル原子力発電所 6 号機が自動停止した。原子力安全委員会によると、6 号機は安定した状態を維持している。放射線監視装置が異常を示す警報を出したり放射線が外部に漏れたりしていないことを確認したという。
- 4 月 2 日 午前 4 時 24 分ごろ、岩手県沿岸北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 6.1 と推定。青森県八戸市、三沢市、野辺地町、五戸町、岩手県宮古市、久慈市、普代村、軽米町、野田村で震度 5 弱、青森県十和田市、平内町、外ヶ浜町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、おいらせ町、東通村、三戸町、南部町、階上町、岩手県盛岡市、大船渡市、花巻市、北上市、遠野市、一関市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、矢巾町、住田町、大槌町、岩泉町、九戸村、洋野町、一戸町、宮城県気仙沼市で震度 4、北海道から東北広域で震度 3。
- 4 月 2 日 再稼働を目指す柏崎刈羽原発で行われていた IAEA による調査が終了し調査チームの担当者は「継続的な改善がなされていることを確認した」と評価した。
- 4 月 2 日 17 時 24 分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 3.5 と推定。石川県輪島市で震度 3。
- 4 月 2 日 原子力規制委員会が、敦賀原発 2 号機の審査で、原子炉建屋直下の断層の活動性が現状では十分に否定できないという認識を示した。
- 4 月 2 日 東京電力が、再稼働を目指す柏崎刈羽原発のテロ対策や安全性向上の取り組みについて、新潟市で住民説明会を開いた。
- 4 月 3 日 午前 8 時 58 分ごろ、台湾付近(石垣島の西南西 250km 付近)を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 7.5 と推定。沖縄県与那国町で震度 4、沖縄県石垣市、竹富町で震度 3。津波警報等(大津波警報・津波警報あるいは津波注意報)を発表され、日本にも 30 センチぐらいの津波が到達した。台湾付近では地震が連続して発生している。被害の大きかった東部花蓮県の景勝地・太魯閣渓谷を中心に、落石で道路が寸断されるなどして身動きのとれない状態になっている。

- 4月3日 午前10時56分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.4と推定。石川県穴水町で震度3。
- 4月3日 12時34分ごろ、千葉県北東部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.6と推定。千葉県若葉区、長南町で震度3。
- 4月4日 原子力規制委員会の石渡明委員らが、福島第一原発を訪れ、防潮堤や共用プール背後斜面の掘り下げ工事予定地を視察し、災害への対応策を確認した。
- 4月4日 東海第二原発の防潮堤工事で施工不備が見つかった問題で、超党派の国会議員でつくる「原発ゼロ・再エネ100の会」が原子力規制庁の担当者に聞き取りをした。規制庁側は「工事の状況を逐一確認していない。われわれは現場監督ではない」とし、「一義的には事業者の問題」と強調した。
- 4月4日 12時16分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは6.0と推定。岩手県矢巾町、宮城県石巻市、名取市、角田市、登米市、大崎市、亘理町、涌谷町、宮城美里町、福島県相馬市、田村市、福島伊達市、国見町、福島広野町、檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町で震度4、青森県から関東の広域で震度3。
- 4月5日 日本時間深夜、ニューヨーク市に近いニュージャージー州でマグニチュード4.8の地震が発生した。米北東部での地震は珍しく、ニューヨーク近郊でM5クラスの地震発生は1884年以来。マンハッタンの国連本部ではパレスチナ情勢を巡る安全保障理事会が開かれていたが、演説を一時中断した。
- 4月5日 午前5時32分ごろ、浦河沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.0と推定。北海道白老町、厚真町、新冠町、浦河町、新ひだか町で震度3。
- 4月5日 関西電力が、定期検査中の大飯原発3号機の運転を再開した。営業運転の再開は5月2日を予定している。
- 4月6日 午前9時12分ごろ、青森県東方沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.5と推定。岩手県盛岡市で震度3。
- 4月6日 東京電力が再稼働を目指す柏崎刈羽原発の取り組みなどについて、新潟県長岡市で住民説明会を開いた。会場からは燃料装着を思いとどまるよう求める意見などが続出。質疑応答は紛糾し退場を命じられる者も出た。
- 4月7日 国際原子力機関が、ロシアが占拠しているウクライナ南部のザポリージャ原発が、ドローン(無人機)攻撃を受けて損傷したと発表した。「原子炉の格納システムの完全性を損ないかねない重大事」と位置付けている。
- 4月8日 午前10時25分ごろ、大隅半島東方沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.2と推定。宮崎県日南市で震度5弱、宮崎県串間市、鹿児島県大崎町、錦江町で震度4、宮崎県宮崎市、都城市、

三股町、高原町、鹿児島県鹿児島市、鹿屋市、垂水市、霧島市、南さつま市、志布志市、始良市、東串良町、南大隅町、肝付町で震度3。

4月8日 東京電力が、福島第一原発の汚染処理水の海洋放出によってタンク貯水量が放出開始時点から約1万9千トン減り、約132万6千トンになったと発表した。減少量はタンク19基分に相当するという。

4月8日 (情報錯綜)ロシア外務省が、ウクライナ南部のザポロジエ原発への無人機攻撃について「ウクライナは核テロの道を歩み始めた」と非難した。ウクライナは否定している。

4月8日 22時29分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.1と推定。石川県珠洲市で震度3。

4月9日 志賀原発の被害状況を志賀町の議員が確認し北陸電力は「安全性が担保されている」と強調した。志賀原発の視察は約2年4カ月ぶり。北陸電力は地震で5回線ある外部電源のうち2回線が変圧器の故障でいまも使用できないと伝えた。

4月10日 福島第一原発事故の国の責任を求め、福島県いわき市の市民が上告した「いわき市民訴訟」で、最高裁第三小法廷は、原告側の上告を棄却した。これにより国の責任を認めないとした2023年3月の仙台高裁判決が確定した。

4月12日 原子力規制委員会で北陸電力が、能登半島地震で志賀原発の敷地内断層が動いた形跡はなく、津波評価も従来と変更はないと説明した。

4月12日 九州電力が、イギリスで保有するプルトニウム約1.5トンを、電力他社がフランスで保有するプルトニウムと帳簿上で交換したと発表した。

4月12日 福島第一原発の汚染処理水を保管していたタンクの内部に腐食が確認された。3月下旬に点検した処理水を保管するタンク5基のうち3基の内部に幅25センチから90センチにわたって複数箇所、塗装が剥がれているのを確認した。経年劣化が原因として、「タンクの強度に影響を及ぼすものではない」としている。

4月12日 18時00分ごろ、奄美大島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.9と推定。鹿児島県奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、天城町で震度3。

4月14日 2016年21時26分以降に熊本県と大分県一帯で熊本地震が発生して8年となった。4月14日および16日未明に発生したほか、最大震度が6強の地震が2回、6弱の地震が3回発生した。

- 4月15日 原子力規制委員会が、柏崎刈羽原発7号機について、「15日に原子炉内に核燃料を装填する」との申請を許可したと発表した。東電は、再稼働には立地する新潟県などの自治体の同意を取るとしており、再稼働時期は「未定」としている。東京電力は、必要な検査の一環として原子炉に核燃料を入れる作業を16時ごろから開始した。
- 4月15日 佐賀県玄海町議会で、「核のごみ」の最終処分場の選定の第1段階にあたる「文献調査」の受け入れを求め、玄海町の旅館組合、飲食業組合、防災対策協議会の3つの団体から請願書が提出された。
- 4月15日 22時ごろ、柏崎刈羽原発7号機への核燃料装填を巡り、制御棒の支えとなる器具を挿入しようとした際、計画と異なる位置に入れようとしているとの警告が出て、装填作業が一時中断した。警告した監視装置に不具合が生じたと判断し、約3時間後に作業を再開した。東電は原因を調べている
- 16日午前7時時点で核燃料計872体のうち12体の装填が完了した。
- 4月16日 佐賀県玄海町の商工3団体が「文献調査」の受け入れを求める請願を町議会に提出し、付託されたことを受け、山口祥義佐賀県知事は、「新たな負担については受け入れる考えはない」と述べ、誘致に反対する姿勢を表明した。
- 4月16日 能登半島地震の影響で志賀原発の周辺30キロ圏内で、屋内退避した住民らの被曝を防ぐ避難施設のうち6施設が使えなかった可能性があると内閣府が示した。スプリンクラーが作動して施設に入れなかったり、放射性物質の流入を防ぐための装置が故障したりしていた。
- 4月17日 東京電力が、柏崎刈羽原発7号機原子炉に核燃料を搬入する作業について、機械の電源系統に不具合があり一時中断した。東電は「安全上の問題はない」としており、予備の機器に取り換えた上23時半ごろに作業を再開した。
- 4月17日 今年元日に発生した能登地震で、志賀原発1号機で原子炉下部の部品が脱落していたことが、原子力規制委員会の会合で報告された。脱落していたのは、制御棒を動かすための装置に関連する金具で3月の点検で判明した。1号機は停止中で、燃料は全て取り出していることから北陸電力は「安全に影響を及ぼす不具合ではない」としている。
- 4月17日 19時18分ごろ、長野県南部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.9と推定。長野県塩尻市、木曾町で震度3。
- 4月17日 23時14分ごろ、豊後水道を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは6.4と推定。愛媛県愛南町、高知県宿毛市で震度6弱、愛媛県宇和島市で震度5強、愛媛県八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、愛媛鬼北町、大分県佐伯市、津久見市で震度5弱、広島県呉市、江田島

市、府中町、大崎上島町、山口県防府市、柳井市、周防大島町、愛媛県松山市、今治市、西条市、伊予市、東温市、久万高原町、愛媛松前町、砥部町、伊方町、松野町、高知県土佐清水市、四万十市、梶原町、四万十町、大月町、三原村、黒潮町、熊本県阿蘇市、産山村、高森町、あさぎり町、大分県大分市、別府市、臼杵市、竹田市、宇佐市、豊後大野市、国東市、姫島村、宮崎県延岡市、えびの市、高原町、美郷町、高千穂町、鹿児島県湧水町で震度4, 西日本広域で震度3。

4月17日 23時19分ごろ、豊後水道を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.0と推定。愛媛県宇和島市、愛南町、高知県宿毛市で震度4, 愛媛県松山市、今治市、八幡浜市、大洲市、西予市、東温市、内子町、松野町、鬼北町、大分県佐伯市、臼杵市、津久見市、国東市で震度3。

4月17日 23時27分ごろ、豊後水道を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.3と推定。愛媛県宇和島市、松野町、高知県宿毛市で震度3。

4月17日 23時31分ごろ、長野県北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.3と推定。長野県山ノ内町で震度3。

4月17日 日本原子力研究開発機構が、廃炉作業中の高速増殖原型炉もんじゅで、中断していた原子炉内の中性子遮蔽体などを取り出す作業を、10月ごろに再開するとした。工程の見直しなどにより、当初の計画通り2026年度に遮蔽体などの取り出し作業を完了できる見込み。不具合は2023年10月25日に発生した。

4月18日 四国電力が、豊後水道を震源とする最大震度6弱の地震後、運転中の伊方原発3号機の発電機出力が約2%低下したと発表した。地震後、タービンに送る蒸気の加熱装置のタンクの水位計に不具合があり、発電効率が落ちたことで発電機出力が下がったという。地震の影響とみられる。原子力規制庁によると、安全への影響はないという。

4月18日 (情報錯綜) 国際原子力機関は、ロシアが占拠するウクライナ南部ザポロジエ原発に無人機(ドローン)攻撃の試みがあったと、ロシア側の職員から報告を受けたと明らかにした。

4月19日 東京電力が、福島第一原発の汚染処理水の海洋放出を再開した。5月7日までに約7800トンを放出する。

4月21日 午前6時19分ごろ、紀伊水道を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.0と推定。和歌山県和歌山市で震度3。

- 4月22日 東北電力が、再稼働を目指している東通原発1号機について、目標としていた2024年度内の追加工事の完了を延期する。原子力規制委員会の審査が長期化する見通しとなったため。延期は14年の審査申請以降6回目。
- 4月23日 日本時間午前3時27分ごろ、台湾付近を震源とするマグニチュード6.6の地震が発生した。
- 4月23日 14時29分ごろ、豊後水道を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.8と推定。高知県宿毛市で震度3。
- 4月23日 佐賀県玄海町議会で審査中の「核のごみ」の受け入れについて、服部誠太郎福岡県知事が、「国の責任で取り組むべき」とし前面にたってほしいという認識を示した。
- 4月23日 中国電力が、山口県上関町で計画する使用済み核燃料の中間貯蔵施設をめぐり、建設予定地で地層や地質を調べるボーリング調査を始めた。
- 4月24日 東京電力が、福島第一原発構内の一部で停電があり、汚染処理水の海洋放出が約6時間半中断したと発表した。男性作業員が構内で掘削中に電源ケーブルを誤って傷つけ、停電したとみている。作業員は顔や右腕にやけどを負い、救急搬送された。
- 4月24日 20時40分ごろ、茨城県北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.0と推定。茨城県水戸市、日立市、土浦市、ひたちなか市、常陸大宮市、城里町、東海村、栃木県市貝町、千葉県野田市で震度4、福島県から関東広域で震度3。
- 4月25日 13時46分ごろ、茨城県北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.0と推定。茨城県東海村で震度3。
- 4月26日 ウクライナ北部のチョルノービリ(チェルノブイリ)原子力発電所の事故から38年となった。**
- 4月26日 午前10時29分ごろ、熊本県阿蘇地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.7と推定。熊本県阿蘇市、南阿蘇村で震度3。
- 4月26日 午前10時33分ごろ、熊本県阿蘇地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.3と推定。熊本県産山村、南阿蘇村で震度3。
- 4月26日 佐賀県玄海町議会在が、いわゆる「核のごみ」最終処分場を巡り第一段階の調査にあたる「文献調査」について本会議で「受け入れを求める請願」を採択した。

- 4月26日 東京電力が、柏崎刈羽原発7号機で行われていた核燃料を入れる燃料装荷が完了したと発表した。
- 4月26日 北陸電力が、元日の能登半島地震の揺れについて、志賀原発1、2号機の旧原子力安全・保安院時代の想定をわずかに上回ったと示した。耐震の健全性は確保されていたという。
- 4月26日 玄海町議会の核のごみの最終処分場選定に向けた文献調査を求める請願の採択を巡り、文献調査の次の段階となる概要調査への賛否を問われた佐賀県の山口祥義知事は「新たな負担を受け入れる考えはない」、「文献調査については見守っていきたいが、私の考えは変わらない」と概要調査を受け入れない意向を示した。
- 4月26日 佐賀県玄海町議会が原発の核のごみの最終処分場選定に向けた請願を採択したことを受け、隣接する唐津市の峰達郎市長が、定例記者会見で、最終処分場が設置された場合の風評被害について「間違いなくあると思う」と述べ、推移を注視する考えを示した。
- 4月26日 東北電力が、東通原発安全対策工事の完了時期の延期について東通村議会で説明した。議員からは「説明不足ではないか」といった不満の声や「地域経済が停滞する」といった意見が上がった。
- 4月26日 18時34分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは2.5と推定。石川県志賀町で震度3。
- 4月27日 日本時間午前3時21分ごろ、台湾東部花蓮県近海を震源とするマグニチュード6.1の地震が発生した。花蓮県で震度4を観測するなど台湾全土で揺れた。
- 4月27日 午前6時10分ごろ、奄美大島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.0と推定。鹿児島県瀬戸内町で震度3。
- 4月27日 17時36分ごろ、小笠原諸島西方沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは6.9と推定。東京都小笠原村で震度3。
- 4月29日 午前1時16分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.6と推定。福島県田村市、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町で震度3。
- 4月30日 午前1時14分ごろ、岐阜県飛騨地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.7と推定。長野県木曾町、岐阜県高山市で震度3。
- 4月30日 16時前、島根原発2号機の放射線管理区域の中で、再稼働に向けた安全対策工事に使う仮設のブレーカーに焦げた跡があるのが見つかった。中国電力の社員が確認して消防に通報した。放射性物質の放出などはなかったものの、消防は火事起きたと判断した。」

4月30日 現地時間13時半ごろ、インドネシアの北スラウェシ州にあるルアング火山で大規模な噴火が起きた。国家防災庁などは、4段階ある噴火の警戒レベルを「3」から最も高い「4」に引き上げた。

4月30日 関西電力に対し、原発から放射性廃棄物などを搬出する際に必要な国への通知を怠っていたとして、文部科学省が文書で厳重注意した。関電は昨年3月と9月、福井県にある大飯、高浜の両原発から放射性の分析試料や低レベル放射性廃棄物を搬出する際、法令と契約で定められた文科省への通知をしていなかった。